



わたしたちの 日本一 美しい村

2014

広報

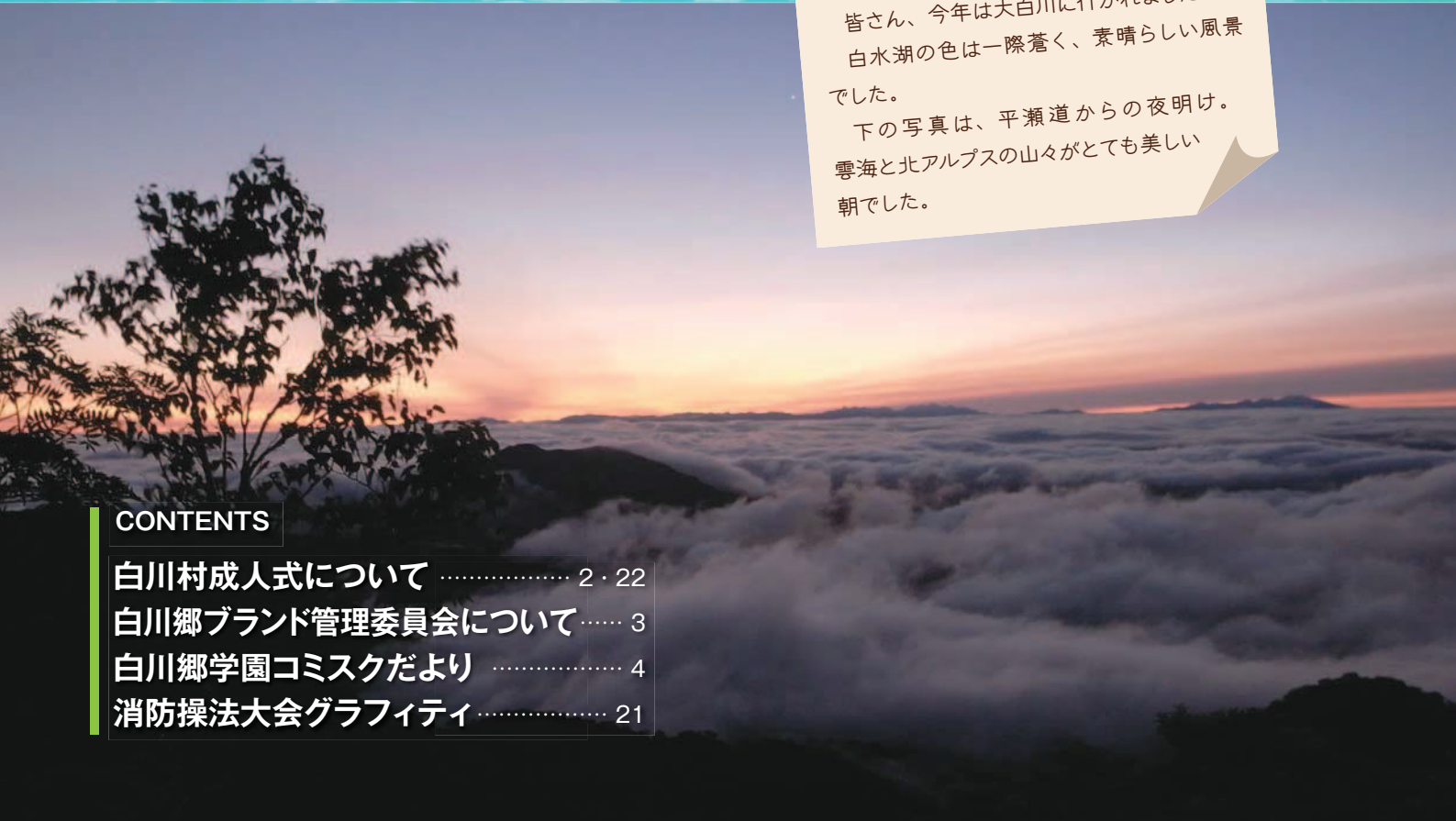
しらかわ

9月号
No.518



皆さん、今年は大白川に行かれましたか？
白水湖の色は一際蒼く、素晴らしい風景
でした。

下の写真は、平瀬道からの夜明け。
雲海と北アルプスの山々がとても美しい
朝でした。



CONTENTS

白川村成人式について	2・22
白川郷ブランド管理委員会について	3
白川郷学園コミスクだより	4
消防操法大会グラフィティ	21

真夏の空の下の再会&

未来への誓い

8月14日（木）平成26年白川村成人式が合掌造り民家園の芸能堂で開催されました。雪の多い1月を避け、若者たちが帰省してくるお盆に合わせ開催しており、今年は男性10名、女性7名が出席しました。

式典では、新成人が1人ずつ自己紹介をし、現在の近況について報告。成原村長から「晴れて大人の仲間入りをされ、社会の構成員の一員として義務と責任を負うことになる。」「皆さんには将来白川村に帰って来



ていただき、一緒になって白川村を創っていきたい。」と激励。そして、新成人を代表し成畑晃希さんが「私たちが生まれ、育ち、学んだこの白川村をさらに魅力的にすること。そして、後世に引き継いでいくことが私たちの使命と思っています。」と力強く誓いの言葉を述べました。



式典終了後は、記念コンサートとして、中部フィルハーモニー交響楽団による木管四重奏の演奏を楽しみました。最近ヒットした曲や、中学校の時の合唱歌まで、楽しみながら聞くことができました。最後には白川中学校の校歌を演奏していただき、全員で合唱しました。

また今年は、「感謝」をテーマに、恩師の方からのビデオレターをみんなで見ました。中学校の時の写真や、懐かしい写真が流れ、楽しく見る事ができました。その後は新しい企画である、「ご両親へ感謝のお手紙お届けします！」を実施。今までなかなか伝えられない感謝の言葉を手紙に書き、民家園のポストに投入し解散しました。

成人式実行委員会より

私たち白川村青年会が実行委員になり、企画・運営を任せられ7年目になります。最初は慣れないところもあり、うまく進行できませんでした。今では新成人が楽しめる企画を考え実行しています。そのおかげで、年々新成人の笑顔が増えてきた気がします。

実行委員会の中には一昨年成人式を迎え、今実行委員会として頑張っているメンバーもいます。1人でも多くの若い方が白川村に帰ってきてもらうため、青年会として、これからも成人式を通して呼びかけていきたいと思っています。



白川郷ブランド認定委員会 からのお知らせ vol.3

地域座談会でも報告がありましたが、今年中に対象商品の募集を開始する予定です。誌面でもたびたび掲載しておりますが、改めて白川郷ブランドの概要と、“白川郷産品認定”のスケジュールをお伝えします。

◆白川郷ブランド認定制度の概要

ブランド制度を策定する意義

白川村民憲章の精神を大切に、白川村がいつまでも白川村として存続し発展していくよう、また村民の創造や創作活動を応援することで夢が叶う村として魅力ある地域生活が送れるよう、この制度を策定します。

認定
制度

白川郷産品認定

10月中旬募集開始！

対象となる条件

- ①申請者は村民または村内に事業所を有する企業・団体等に限る
- ②各種法令等を遵守していること
- ③商品の原材料が白川村内で生産されていること
または商品の製造が白川村内で行われていること

認定のメリット

- ①村公式のホームページ、フェイスブックなどに掲載します
- ②専用認定マークの使用が許可されます
(他の商品と差別化される)
- ③各種イベント・物産展でのPR など

今後のスケジュール（予定）

●対象商品の募集
H26.10月中旬頃

●募集の締め切り
H26.11月末日

●審査会
H26.12月中旬頃

●認定&PR開始
H27.1月～

認定
制度

◆（仮称）白川郷ブランド認定

2015年春頃から募集開始予定。

コミュニティ・スクール 白川郷学園 コミスクだより

【つなぐれ 地域と学校 大人と子ども】

白川郷学園学校運営協議会

白川郷学園学校運営協議会と学校職員合同研修会



8月4日、第2回学校運営協議会が開催されました。協議内容には、9月に行われる運動会・体育祭への地域の参加について、どのように多くの方に呼びかけ学校と地域をつなげるかが話し合われました。子どもたちの願いである「多くの地域の方と一緒にこだいじんを踊りたい」という熱い願いを実現できるよう、委員の方々はいろいろな意見を出し合っていました。

この日は、学校運営協議会と学校職員の合同研修会もあり、文部科学省初等中等教育局CSマイスター高木和久先生をお招きし、学校と地域が協働で白川村の子どもを育てるためのご講演をして頂きました。「いい地域には、いい学校があり、いい学校は、いい地域にあります。みなさんの取り組みは、学校のためだけのものではなく、10年後20年後の白川村の担い手を育てることであり、それは村の将来に繋がる大切なことです。だからこそ、地域の活動の中でも子どもをお客さん扱いせず、共に活動できる場を大人がつくっていくことが大切です。」と話され、これからの学校と地域が協働で取り組んでいくことの大切さを学びました。

生徒会で村民に呼びかけ「運動会・体育祭で一緒にこだいじんを踊りましょう～」

私たち白川郷学園生徒会は、保護者の方々だけでなく、地域の方にも「運動会・体育祭」に来ていただきたいと思います。村を歩いて宣伝をしたり、盆踊りに参加させていただいたりしました。家から出て来て話を聞いてくださる方や、「応援しとるよ」「来てくれてありがとう」「白川郷学園がんばれ」といった言葉をかけてくださる方がいて、私たちが地域から元気をもらいました。

また話を聞いていただいた方にはリアカーに名前を書いていただきました。最初は真っ白だったリアカーも今ではたくさんの方の名前が記され、過去・今・未来を結べた証となりました。

たくさんの協力があって、このような活動ができました。皆さんありがとうございました。



白川郷学園中学校生徒会

野谷 莉菜 福地 倫樺 山下 華 中森龍太郎

中学生託児ボランティア体験



立・共生・貢献)」につながります。地域の中での活動ですが、子どもたちの「ひとりだち」につながる大切な体験ができました。

乳幼児家庭教育学級では、中学生の夏休み期間中に託児ボランティア体験を3回行いました。参加してくれた6名の生徒さんは、「小さい子が今何をして欲しいのか」「なんで泣いているのか。どうしたら泣き止むのか」と乳幼児の気持ちを考えながら優しくふれあっていました。学級生のお母さん方からは、「中学生のみなさんのおかげで子どもも喜び、私も安心してお話会に参加できました。」と大変喜んでいました。他のことを考えて行動し、他と進んで関わり、他のために役立つ体験は、学校の教育目標「ひとりだち（自

白川村子ども会★読谷村子ども会交流会 in 読谷村

白川村子ども会では、6年生を対象に読谷村子ども会との交流事業として7月25～28日に沖縄県読谷村に行ってきました。交流会の目標は「ひとりだち」です。

学校生活で学んだことをこの交流会でも生かし、より自分を磨くことが目的です。

この事業のメインは民泊体験で、初めて出会う友達の家にお世話になることもあり、参加した子どもたちはとても緊張していましたが、最終日のお別れ式では家族との別れを惜しむ姿がたくさん見られました。

子どもたちの感想には、「私のためにいろいろな体験をさせてくれて嬉しかったです。」「僕のことをいつも考えてくれていました。」「冬に白川村に来た時には、相手のことを考えていろいろなことをしたいです。」「といった内容がたくさんあり、読谷村のご家族のおかげで思いやりの心が育まれ、また一步「ひとりだち」に前進することができました。

2月の白川村での交流会では、寒さの中でもあったかい交流会ができそうですね。



地域おこし協力隊からこんにちは!

旧平瀬小学校絶賛開放中!



8月の校舎開放日には、村内外の方含めて、のべ308人の方の来場者がありました。

特に、夏休み期間中ということもあり、幼稚園から中学生まで、多くの子どもたちに来校いただき賑やかな学校になりました。

9月も引き続き、毎週月・水曜日の8時半～17時頃まで開放しています。過去の村の様子がわかる写真をいただいたり、大学研修先やアクティビティの会場として、すでに多く活用方法がはじまっています。

皆様のお越しをお待ちしています。

柴原隊員、空き家を譲り受けました

1月の着任から村内の空き家状況の調べてきた柴原隊員が、自らが積極的に移住体験を進めるべく、家を購入し、改修して住むことになりました。

完成後は、住居以外にも交流スペースを設けるなど村内外の方々が触れ合う場にしたい、とのことでした。

今後は改装に向けたワークショップなどを岐阜県と合同で行う計画もあります。

作業現場の内覧会も行っています。是非ご来場ください。

古民家改修 交流拠点に



インターン受け入れを担当しました



昨年に引き続き、亜細亜大学と愛知大学からインターン学生を受け入れました。

役場だけでなく、トヨタ白川郷自然学校や、観光協会など村内各所で実際に職場体験をしました。

対応いただいた皆様、ありがとうございました。

インターン生が制作した、「平瀬マップ」のクオリティが高いため、印刷をして村内に設置する予定です。

詳細は今後にご期待ください。

地域おこし隊の活動はインターネットでも公開中!

☆地域おこし協力隊 隊員ブログ「白川村から、こんにちは。」
<http://vill-shirakawa-heritage-mgr.blogspot.jp/>

☆ **facebook** Facebookページ 白川村地域おこし協力隊
<https://www.facebook.com/vill.shirakawa.heritage.mgr>

白川村地域おこし協力隊メンバー



高橋 淳



大倉 暁



柴原 孝治

白川村民謡保存連絡協議会からの

お知らせ

白川村民謡保存連絡協議会（以下、民謡連絡協議会）は村内の平瀬、荻町、鳩谷、飯島の各民謡保存会と白川郷春駒保存会の全五団体により組織される協議会で、白川村に伝承される民謡、郷土芸能の普及、発展、保存、復活を目的としています。

ご存じの通り、白川村には各地域

毎に多彩な民謡、

芸能が伝承されていますが、若い世代を中心とした人口減少とそれに伴う後継者不足などにより民謡の保存継承が難しくなってきました。民謡連絡協議会では各保存会が抱える後継者育成などの

悩みや、年間の取り組み状況を共有しあうことで村内全保存会が一体となって白川村伝統芸能の伝承に取り組んでいます。

現在は伝統芸能保存の意識向上を目的に年一回踊り子、囃子方含め全保存会員が集う交流会を行っています。さらに今年は、各保存

会の民謡と春駒の踊り継承を目的としたDVDの作成にも取り組めます。



白川郷学園との取り組み

民謡連絡協議会では平成二十四年度から継続的に白川郷学園に民謡指導協力を行っています。白川郷学園で秋に行われる運動会・体育祭で子供達が地域の人たちと一緒に「こだいじん」を踊ることを目標に取り組んでおり、今年で三年目を迎え段々と成果が見えてきました。

白川民謡は地域毎にお囃子の曲調や踊りが違うため、まずは民謡連絡協議会の中でどう指導するか議論を重ね、最終的に「地域ごとの踊りの違いを大切にしたい。」という思いから子供達が住む地域毎に踊りを教え、運動会・体育祭も地域ごとに踊ることに決定しました。各保存会で地域の人々に呼びかけ、今では述べ三十二名あまりの地域の人々が学校へ向いて子供達の踊りの指導をしてくれており、伝統芸能の継承と同時に「学校と地域がつながる」きっかけづくりにも大きな役割を果たしています。



ロングトレイルフォーラムが開催されます

近年、全国的に登山やトレッキング、ウォーキングなどの需要が高まり、愛好者数は1,000万人を超えると推計されています。そして高齢化社会への移行と連動する形で「健康」を意識した歩く活動が今後も広く普及するといわれています。また、せっかく歩くのであれば気持ちのいい道を歩きたいと思うのは自然な気持ちです。そうなる歩いて楽しい道を求めて旅行するというスタイルが今後も継続するという予測も納得できます。

このようなニーズに応える一つの手法がロングトレイルです。頂上を目指さない山歩きの手道を整備し、安全安心なガイドを提供することで末永くこの地を楽しんでいただく環境を作り上げたいと考えています。

白山白川郷トレイルの特徴は、世界遺産集落周辺のウォーキングや大白川の原生林を楽しむトレッキング、そして本格的な白山縦走を楽しむ登山エリアなど様々な楽しみ方ができるところです。高低差もかなりありますが分割して日にちを改めて歩いてもらうことで長く楽しんでいただけます。

このようなロングトレイルの可能性をもっと具体的に知るチャンスが、第9回ロングトレイルフォーラムです。日本各地からロングトレイルの関係者が集い、意見交換を行います。文科省と環境省のご協力もあり、それぞれ特別に情報提供いただく予定です。パネルディスカッションでは飛騨山岳ガイド協会の方をはじめ、山に造詣の深い方々にご登壇いただきます。みなさん是非お話を聞きにお越しください。



第9回 ロングトレイルフォーラム（無料）

■日 時：10月25日（土）14:30～17:30 於 トヨタ白川郷自然学校

主 催：白山白川郷トレイルクラブ 共催：日本ロングトレイル協議会

後 援：文科省、環境省、観光庁、岐阜県、白川村（すべて予定）

来賓等：文科省スポーツ・青少年局課長 坪田知広氏、環境省自然環境局課長 鳥居敏男氏、日本山岳会副会長 節田重節氏、日本ロングトレイル協議会代表理事 中村 達氏、飛騨山岳ガイド協会 島田靖氏、高島トレイルクラブ 前川正彦氏 他

※翌26日にエクスカッションで大白川を歩きます（有料）。

●お問合せ：白山白川郷トレイルクラブ事務局 ☎6-1185 山田

はらじゅく畑 きみママの

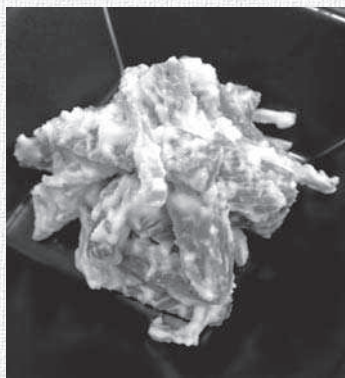
イラスト・葉々子

誰でも作れる！家族が喜ぶ！白川村レシピ

Vol.32



テーマ＊こんにゃくや野菜と相性ピッタリ！



☆こんにゃくのすったて和え☆

●材 料

こんにゃく1枚（220g）
人参5cm
ごま大さじ1
すったて大さじ5
A さとう大さじ1
酒大さじ1
しょうゆ小さじ2
塩



●作り方

- ①こんにゃくに切れ目をつけ短冊切りにして熱湯をかける。
人参はこんにゃくよりも細めに切る。
- ②鍋に①のこんにゃくを入れ、キュッキュッと音がするまで乾煎りする。
- ③人参を入れAを入れ、汁気がなくなるまで炒め煮をする。
- ④ボールにすったて、ゴマ、塩を入れ③を入れて和える。



きみママから一言

こんにゃくをキュッキュッと乾煎りする長くとると味がしみ込みやすくなりますよ！

☆きみママのレシピはブログでも更新しています。

はらじゅく畑で検索

はらじゅく畑

検索